

地域貢献の考えが従業員に根付く同社は、競合が撤退する中、全拠点を維持。
震災時には燃料油供給の維持に貢献し、今後もその責務の全うにこだわり。

背景・課題

- 大正9年（1920年）に創業。一貫して宮城県気仙沼市を拠点に地域密着型の経営を展開。
- 貫いてきたのは地元の基幹産業である漁業を支えるエネルギー供給。同社は漁業関係企業により創立されたというルーツもあり、この漁業を支えるエネルギーの安定供給という責務を全うすることに一貫してこだわりを持ち続けてきた。
- 暮らしを支えることへのこだわりは、そのまま、地域への貢献という考え方・行動につながり、多面的で深く地域・社会に貢献。

取組内容及び効果

【状況が変わるきっかけ・気づき】

- 2011年の震災により壊滅的な被害を受け、石油の安定供給の崩壊が現実となり、石油エネルギーの重要性、安定供給の使命を強く自覚。
- 流通網が寸断され、供給が滞り、外部からの支援も極めて限定的で皆が不安に陥っている最中、地域への貢献の使命に燃えた同社が地域の燃料油供給の主体となった。

【地域のニーズ・社会的課題解決の秘訣①】

<創業時からの「自然と地域に貢献する」という考え方>

- 常に地域の暮らしや産業の発展を願いながら石油エネルギーの安定供給に努め、SS店舗内だけでなく、店舗周辺も毎日5分間清掃することを全店舗で実施、社員による献血協力、図書館への蔵書寄付を実施、「気仙沼みなとまつり」、「気仙沼市大川沿いの清掃活動」にも積極的に参加。

【地域のニーズ・社会的課題解決の秘訣②】

<震災以降の「地域へのエネルギー供給責任」という使命>

- 震災以降、地域への貢献をこれまで以上に意識し、災害対応型SS化、地域植林ボランティア、地域イベントへの参加、復興支援へのお礼メッセージパネル掲示、気仙沼地区復興まちづくりの各方面へ参画協力。

【地域のニーズ・社会的課題解決の秘訣の定量的・波及的效果】

- 復旧不能事業所はあるものの拠点数（4SS）を維持。地域の方々の共感で利用者増。
- シェルグループの「人材による店舗力向上」のサポートプログラム「SPATグローバル」で高く評価。2014年には、HSSE(健康、安全、セキュリティ、環境保全の略)表彰部門で世界ベスト4、2015年にはリテラー（運営者）表彰部門で日本1位、世界ベスト4に選出。



地域への感謝の思い



SS店舗周辺での毎日5分間清掃

今後の展望

- 店頭で接客するスタッフの「感性」を更に向上させ、多様化する顧客ニーズを感知し、応えることが今後、更に重要。
- 引き続き、地域へのエネルギー安定供給という責務を全うしながら、ポイントシステムや購買データの活用を進化させ、個々の顧客に合った提案を更に高いレベルで実行していく。

会社情報	会社名	(株) 気仙沼商会
	運営SS数	14SS (フル: 11SS、セルフ: 3SS)
	ガソリンの月販ごとのSS数	-
	系列 (主なマーク)	昭和シェル石油
	ガソリン卸先数	-
SS以外の兼業事業概要	高圧ガスの製造販売、住宅設備機器の販売及び設備工事、自動車の販売修理及び用品販売、損害保険代理業、生命保険代理業、電気通信機器の販売、酒類、免税品販売、音楽CD、DVD販売	

取組を行っている店舗情報	店名	カーシス大橋
	所在地	宮城県気仙沼市南郷1-1
	立地特性	都市/商業立地
	営業時間	7:00~21:00
	従業員数	-
	運営形態	フル
	敷地面積	-
	燃料油販売数量	-